

地域交流会 講演概要 (SHIMIZU CROSS)

事例・課題の概要

【静岡県静岡市清水区】 SHIMIZU CROSS

- 宿泊施設運営やまちづくり事業を手がける株式会社竹屋旅館が、清水駅前銀座商店街の空き店舗をリノベーションし、2024年にオープンした複合施設（シェアオフィス、貸切スペース等）。まちが元気でなければ持続的なホテル運営もできないという危機感から、清水地域におけるシビックプライドの醸成と、住民と地域との「関わりしろ」の創出に着目。清水エスパルス等の「スポーツへの熱量」を地域資源として活用し、スポーツを通じた地域づくりの中間支援組織として機能している。

事例・課題のポイント

キーワード：【地域内連携、合意形成】 【人材発掘、巻き込み】 【人材育成・アクティベーション】

- SHIMIZU CROSSを主導する牧田氏は清水駅前銀座商店街の理事に就任。商店街、スポーツクラブ、企業、学校、自治体といった多様な関係者と連携しながら年間50件を超えるイベントやワークショップを実施。
- プロジェクトの実施にあたり、地域内外の副業人材がプロボノで関わるなどして関係人口になっている。
- 地域をフィールドとして、スポーツを事業化できる人材を育成するためのビジネススクールを立ち上げ。清水地域に点在する遊休資産（空き店舗など）とプロスポーツクラブが有するアセット（資産）を掛け合わせる手法を学ぶプログラムなどを通じ、課題解決型のプレイヤーを生み出し続けることで、自走に向けたモデルづくりを目指す。

他の地域にも参考となるポイント

- 商店街において、個人レベルで顔の見える関係性を構築するとともに、行政の施策（例：商店街に「子育ての場」としての機能を持たせる取組など）とも連動。
- 民間主導から始まる公的連携：まずは民間（自社）がリスクをとってプロジェクトを立ち上げ、共感する個人の参画で実績を作った結果、行政等の公的機関が追随する「実績先行型」のプロセスは厳しい視線が向けられがちな民間まちづくりにおいて有効なアプローチの一つといえる。